第1回

漢字の練習 1

不・争・井・以

できた数 問

学習日　月　日

漢字 画数 【部首】	読み	筆順 熟語と使い方	練習	字の成り立ち
不 4 【一】	おん フ ブ くん —	不不不不 不安　不運　不老不死 不運が重なる。	不 つけない とめる とめる	上に向かって鳥が飛ぶ様子。否定を表す。
争 6 【亅】	おん ソウ くん あらそ—う	争争争争争争 戦争　競争　争点 戦争には反対です。	争 だす はねる	二つの手でものを取り合う様子から争うことを表す。
井 4 【二】	おん（セイ）（ショウ） くん い	井井井井 井戸　福井　天井 井戸の水をくむ。	井 はらう とめる	井の形に組まれた木で、井戸を表す。
以 5 【人】	おん イ くん —	以以以以以 以上　以来　以心伝心 かれとは以心伝心の仲だ。	以 左下へだす とめる	手で道具を持ち、仕事をする様子から、「～で」という意味を表す。

次の——線の読みがなを書きなさい。

□(1) 以前にお会いした人。

□(2) 戦争には反対です。

□(3) はげしい争いをくりひろげる。

□(4) かれとは以心伝心の仲だ。（言葉なしで心が伝わること）

□(5) 井戸の水をくむ。

□(6) 不運が重なる。

□(7) 天井が高い。

□(8) 不死の生物を探す。

sample

次の――線部を漢字に直しなさい。必要（ひつよう）ならば、送りがなもひらがなで正しく書きなさい。

□(1) 話し合いのソウテン。

□(2) フアンな気持ちになる。

□(3) フクい県で発掘（はっくつ）された化石。

□(4) あらそいはやめよう。

□(5) 相手にとってフソクはない。

□(6) 小学生イカは入れません。

□(7) いどの水は冷（つめ）たい。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)

□(8) 学者たちによる論（ろん）ソウ。
考えの対立による あらそい

□(9) い の中のかわず。
カエル

□(10) 鉛筆（えんぴつ）イガイで書くこと。

□(11) 生存（せいぞん）競ソウで生き残（のこ）る。

□(12) 入学イライの友人。

□(13) フイに呼（よ）びとめられる。

□(14) 戦ソウ映画（えいが）を見る。

□(15) フコウなできごと。

□(16) 関東（かんとう）イホクの地形の様子。

(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)

Sample

漢字 画数 【部首】	読み	筆順 / 熟語と使い方 / 練習	字の成り立ち
付 5 【亻】	おん フ くん つ―ける つ―く	付近　交付　送付 この付近は人が多い。	手にものを持って人に付ける様子から、付けることを表す。
令 5 【人】	おん レイ くん ―	命令　法令　令息 命令にさからう。	人を集めるおおいと、ひざまずく人の様子から、人を集め、ひざまずかせることを表す。
兆 6 【儿】	おん チョウ くん （きざ―す） （きざ―し）	前兆　兆候　一兆円 病気の兆候が見られる。	占いで、カメのこうらを焼いてできたひび。未来の「きざし」を表す。
伝 6 【亻】	おん デン くん つた―わる つた―える つた―う	伝言　伝票　伝記 伝言をお願いします。	丸い重りを回す図と人で、伝えることを表す。

次の――線の読みがなを書きなさい。

(1) 伝票を持って会計へ行く。（お金のやりとりを記した紙）

(2) 法令を制定する。

(3) 案内状を送付する。

(4) 春の兆しが感じられる。

(5) 命令にさからう。

(6) この付近は人が多い。

(7) 病気の兆候が見られる。（前ぶれ、きざし）

(8) 伝言をお願いします。

次の――線部を漢字に直しなさい。必要ならば、送りがなもひらがなで正しく書きなさい。

□(1) 父はジデン小説を書いた。

□(2) 季節の変わるゼンチョウ。

□(3) 手にどろがフチャクする。

□(4) ゴウレイをかける。

□(5) 古くからのいいつたえ。

□(6) イッチョウエンの損害。

□(7) 証明書をコウフする。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)

□(8) 警報をハツレイする。

□(9) 相手に気持ちがつたわる。

□(10) 国王のメイレイにそむく。

□(11) デンゴンをたのまれる。

□(12) チョウは億の一万倍だ。

□(13) 偉人のデンキを読む。

□(14) 名札をつけて歩く。

□(15) 地震のヨチョウがあった。

□(16) 社長からのシレイを受ける。

(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)

Sample

第1回

言語事項 1 五十音図

できた数　　問

学習日　月　日

□問一 次の五十音図について、問いに答えなさい。

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ		ユ		ヨ
ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ（ヰ）			（ヱ）	ヲ
ン									

五十音をもとにして暗号を作りました。例えば、アイは、(11・12)で表します。また、カゴは、(21・210)で、センは、(34・111)で表します。これらの例からわかる規則にしたがって、次の(1)～(3)の暗号をカタカナに直しなさい。

(1) (66・51・51)

(2) (74・95・111)

(3) (68・410・13)

□問二 例にならって「五十音図」を使った次の「たし算」でできる言葉をカタカナで答えなさい。

例 カ行・ア段＋カ行・イ段＝カキ（柿）

(1) パ行・オ段＋タ行・エ段＋タ行・オ段

(2) バ行・ア段＋ア行・イ段＋カ行・ウ段

(3) ア行・イ段＋ガ行・イ段＋ラ行・イ段＋サ行・ウ段

(4) ダ行・エ段＋ザ行・イ段＋タ行・ア段＋ラ行・ウ段

□問三 次の(1)～(8)のひらがなとカタカナの→で示した画は、何画目に書きますか。算用数字で答えなさい。

(1) も

(2) か

(3) た

(4) は

(5) キ

(6) ロ

(7) →ウ

(8) テ

□問四 次の各組の言葉の第一音を「五十音」順にならべかえ、ア～エの記号で答えなさい。

(1) ア ルール　イ サラダ　ウ キック　エ テニス

(2) ア 教室　イ 時計　ウ 校門　エ 先生

□問五 次の(1)～(3)の各文字の音として適当なものを、ア＝濁音・イ＝半濁音・ウ＝拗音の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

(1) ぷ

(2) ひゃ

(3) バ

Sample

第1回

言語事項 2

かなづかい

できた数▼　問

学習日　月　日

□問一　次の(1)〜(12)について、かなづかいの正しいものを選び、記号で答えなさい。

(1) 地震　ア　じしん　イ　ぢしん　□

(2) 手近　ア　てじか　イ　てぢか　□

(3) 弟　ア　おとうと　イ　おとおと　□

(4) 手作り　ア　てづくり　イ　てずくり　□

(5) 公　ア　おうやけ　イ　おおやけ　□

(6) 平和　ア　へいわ　イ　へえわ　□

(7) 氷　ア　こうり　イ　こおり　□

(8) 大阪　ア　おうさか　イ　おおさか　□

(9) 図表　ア　ずひょう　イ　づひょう　□

(10) 道具　ア　どうぐ　イ　どおぐ　□

(11) 時計　ア　とけい　イ　とけえ　□

(12) 十　ア　とう　イ　とお　□

□問二　次の(1)〜(5)の各組について、かなづかいのまちがっているものを一つずつ選び、記号で答えなさい。

(1) ア　くうき（空気）　イ　ゆうがた（夕方）
　　ウ　こうる（凍る）　エ　むこう（向こう）　□

(2) ア　ずめん（図面）　イ　ねずみ
　　ウ　だいず（大豆）　エ　こずつみ（小包）　□

(3) ア　ちじむ（縮む）　イ　みじかい（短い）
　　ウ　まじわる（交わる）　エ　あじわう（味わう）　□

(4) ア　とおる（通る）　イ　おおきい（大きい）
　　ウ　もよおす（催す）　エ　うんどお（運動）　□

(5) ア　かぢ（火事）　イ　みぢか（身近）
　　ウ　はなぢ（鼻血）　エ　いれぢえ（入れ知恵）　□

□問三　次の(1)〜(8)の——線部のかなづかいで、まちがっているものが三つあります。それらを番号で答えなさい。

(1) ぞおきん（雑巾）で窓（まど）をふく。

(2) とおく（遠く）に見える山々をスケッチする。

(3) 母が、はこづめ（箱詰め）のミカンを買ってきた。

(4) ナイフで鉛筆（えんぴつ）をけづる（削る）。

(5) 本当にできるかどうか、じしん（自信）がない。

(6) かれのようにせいじつ（誠実）な人は見たことがない。

(7) どおすればいいのか、わからない。

(8) 今月は、雨の日がおお（多）かった。

□
□
□

Sample